

ひまわり号津山の旅

ご案内



津山まなびの鉄道館 転車台と各種電車

出発日 2023年
5月28日(日)

行き先 津山市



後援 倉敷市 倉敷市社会福祉協議会 山陽新聞社 OHK岡山放送

乗車申込のご案内

(1) 募集人員

障がい者	25名
付き添い家族	8名
介助ボランティア	40名
その他ボランティア	27名



(2) 運行日程



5月28日(日)

7時55分頃	倉敷駅で受付開始
9時05分頃	倉敷駅出発 ⇒ 11時30分頃 津山駅着予定。 衆楽園・津山まなびの鉄道館を散策します。
14時15分頃	津山駅出発 ⇒ 17時10分頃 倉敷駅帰着予定。

(3) 参加費



大人 3,000円 小・中・高・大学生 2,000円

(JR運賃、施設入場料、昼食弁当、保険料を含む)

※ 乗車されるすべての方の参加費は同額にしています。

※ 参加費は郵便振替用紙が届いてからお支払下さい。

(4) 申込方法



津山の旅申込書を事務局まで郵送して下さい。

募集は 4月 1日(土)より開始します。

宛先

〒710-0051 倉敷市幸町 2-30 しげい病院内

ひまわり号を走らせる倉敷実行委員会 宛

- 申込が募集定員を上回った場合は抽選とさせていただきます。
あらかじめご了承ください。
- 抽選となった場合、結果は全員の方にお知らせします。

(5) 申込締切

申込締切

障がい者の方 4月15日(土) 必着

ボランティアの方 4月29日(土) 必着

(6) お問い合わせ

日曜、祝日を除く、午前10時～午後3時までの時間

電話 086-422-3655 しげい病院の受付から、ひまわり号
事務局を呼び出して下さい。

(7) 感染症対策

※新型コロナウイルス感染症対策について

- 参加費の納入は必ず郵便振替でお願いします。
- 高齢者や基礎疾患のある参加者を守るため、マスクの着用やこまめな消毒など会の定める感染症対策にご協力をお願いします。



障がい者の方

参加条件

原則として市内およびその近郊にお住まいの方で、障がい者手帳療育手帳をお持ちの方など何らかの障がいがある方であれば、どなたでも参加出来ます。

倉敷駅までの交通手段について

倉敷駅までは各自でお越しください。

バスやタクシー、福祉タクシーを利用しても、介助者が別に必要な方はご相談下さい。

ボランティアの方へ



ボランティアは初めてでもOK

介助の経験が無くても大丈夫です。困った時は周りの人に声をかけ、協力しましょう。

親子でのボランティアも歓迎します。(ただし、小学校4年生以上)

単独参加は中学生以上とします

■ ボランティア教室を開催します。

(特に、初めての方は参加をお進めします。)

5月 7日 (日) 午後1時より

くらしき健康福祉プラザ

講習と実習で2時間程度を予定しています。

必要なボランティア

ひまわり号では次のようなボランティアを求めています。

■ 介助ボランティア

車椅子の人や目の見えない人と一日一緒に旅を楽しみ、必要な介助をします。

■ 設営ボランティア

車内の仮設トイレやベット、おしめ交換所を仮設します。朝早くから最後まで動きます。

■ レクボランティア

歌や腹話術、人形劇、紙芝居など得意なレクリエーションで楽しく和らいだ雰囲気を作ります。



津山の見所

森家二代目藩主長継(ながつぐ)が、明暦年間(1655~57)に京都から作庭師を招いて作らせた廻遊式の庭園で、京都御苑内にある仙洞御所(せんとうごしよ)を模したものとわれています。元禄11年(1698)松平家が藩主となって以後幕末まで、家臣や他藩・他家からの使者を謁見(えっけん)するための「御対面所(ごたいめんじよ)」または、藩主の「隠居所(いんきょじよ)」の庭園として使われ、明治3年(1870)に「衆楽園」として命名されました。



(2) 学びの鉄道館

岡山の鉄道の歴史にスポットを当てながら、日本における鉄道の始まりから今に至るまでを当時の出来事と共に紹介。安全で快適な鉄道。どのようにして正確な運行が行われているのか、技術的や工夫について体験設備も交えて紹介している。旧津山扇形機関車庫等津山の町並みをジオラマで再現。Nゲージ固形も走っている。



守ろう平和 築こう福祉 共に生きる街 倉敷
みんなの心を連結し 走れ ひまわり 夢乗せて

「ひまわり号」を走らせる倉敷実行委員会
事務局: 倉敷市幸町 2-30 しげい病院内
電話: 086-422-3655